

〈看護実践〉

NO	研修名	対象者	募集人員	期日	ねらい	内容
14	呼吸器ケア	3等級以上	50名	10月5日(火) 18:00~19:30 11月2日(火) 18:00~19:30 12月3日(金) 18:00~19:30 * 12月10日(金) 18:00~19:30 * (*どちらかに参加)	・呼吸器装着患者の安全対策・感染予防の必要性が理解できる	・安全対策・感染予防について ・人工呼吸器管理、人工呼吸器装着患者の管理の体験 ・呼吸器感染予防のケアリング体験
15	心電図Ⅱ	3等級以上	50名	8月19日(木) 18:00~19:00 9月22日(水) 18:00~19:30 10月7日(木) 18:00~19:30 * 10月21日(木) 18:00~19:30 * (*どちらかに参加)	・心電図装着患者の異常の早期発見・対処方法を学び看護実践に活かせる。	・心電図モニター・十二誘導心電図の波形の読み方 ・異常波形・致死的不整脈の種類と対処方法 ・心電図モニターの安全管理
16	フィジカルアセスメントコースⅠ： 初級編	3等級以上 (聴講も可能)	30名	7月24日(土) 9:00~12:00 * 7月24日(土) 13:30~16:30 * (*どちらかに参加) 8月7日(土) 9:00~12:00 * 8月7日(土) 13:30~16:30 * (*どちらかに参加)	・フィジカルアセスメントの目的・方法を理解し、看護実践に活かすことができる。	・呼吸器系の観察(聴診・視診・触診の方法) ・循環器系の観察(聴診・視診・触診の方法とショック時の観かた) ・腹部の観察(聴診・触診・打診方法) ・意識障害の観察(意識レベル・瞳孔・麻痺の見方)
17	フィジカルアセスメントコースⅡ： 中級編	3等級以上でⅠを受講した者 (聴講も可能)	30名	6月12日(土) 9:00~12:00 7月17日(土) 9:00~12:00	・急変予測につなげるためのフィジカルアセスメントを学び、看護実践に活かすことができる	・侵襲と生体反応、ショックの病態について ・関連図の作成 ・事例検討
18	フィジカルアセスメントコースⅢ： 上級編	5等級以上 (聴講も可能)	30名	10月28日(木) 18:00~19:30 11月18日(木) 18:00~19:30 12月9日(木) 18:00~19:30	・病態予測と急変を回避するための全身的なフィジカルアセスメントを学び、看護実践に活かすことができる	・低酸素血症の状態に合わせた看護ケア ・敗血症・ショックに至る病態生理とアセスメント ・フィジカルアセスメントの結果を他者へ報告するポイント ・事例検討
19	急性期看護における指導者育成研修	4等級以上	30名	8月21日(土) 9:00~12:00 9月18日(土) 9:00~12:00	・臨床推論の基礎を学び、指導能力の向上をはかり、看護実践に活かすことができる	・看護実践における指導者としてのコミュニケーションのあり方 ・フィジカルアセスメントをもとにした効果的な指導法 ・臨床推論を活用した患者アセスメントの方法について ・指導者としての自己課題の明確化
20	急性期病院に求められる退院支援 と在宅看護《基礎》	3等級以上	50名	6月8日(火) 18:00~19:00 6月22日(火) 18:00~19:00	1. 地域包括ケアシステム構築における当院の役割と機能を理解し、在宅移行支援のあり方を学ぶ 2. 患者および家族の療養生活の質向上のために必要な退院支援の知識を学ぶ	・地域包括ケアシステムと急性期病院の役割と機能について ・入退院支援における看護師の役割について ・退院後の在宅療養と訪問看護について
21	急性期病院に求められる退院支援 と在宅看護《応用》	基礎編修了者 3等級以上	15名	研修期間:8月~1月 研修時間9:00~17:00 ①退院支援課:実習1日 ②訪問看護ステーション(ほとと):実習1日	1. 地域包括ケアシステム構築における当院の役割と機能を理解し、在宅移行支援の実践を学ぶ 2. 患者および家族の療養生活の質向上のために必要な退院支援とは何かについて自己課題を明確にできる	・退院支援課看護師の役割と退院調整の実践について ・訪問看護師の役割と在宅療養生活の実践について ・自己課題レポート
22	R2年度改訂 重症度、医療・看護必要度研修	全看護職 病棟看護師は必須 (令和2年度未受講者)	100名	開催月:8月~12月(各部署で実施) 開催時間:1時間程度	・重症度、医療・看護必要度評価改定後の内容を理解し、当院の運用基準に基づき適切な評価ができる	・重症度、医療・看護必要度の概念と導入目的 ・重症度、医療・看護必要度の評価票の構成と方法
23	医療安全研修	4等級以上	40名 各部署2名	7月2日(金)15:00~17:00 7月30日(金)15:00~17:00 8月6日(金)15:00~17:00 9月~部署で防止対策の実施・評価 12月3日(金)14:00~17:00 発表	・連携不足、確認の怠りによる部署のインシデント事例を分析し、マニュアル遵守できる行動につなげるための対策に取り組める	・事故発生のメカニズムと防止対策 ・インシデント事例分析(演習) ・自部署での安全に関する取り組みと結果発表
24	看護倫理研修	4等級以上	40名 各部署2名	7月14日(水) 15:00~17:00 9月8日(水) 15:00~17:00	・事例検討を通して倫理的感受性を高め、実践に活かすことができる	・倫理とは ・倫理原則・Jonsenの4分割について ・倫理的問題事例検討シートの記入方法について ・事例検討
25	実習指導者コース	4等級以上 看護単位で選出された 学生指導者	22名	奇数月 第1金曜日 13:30~15:00 (5月開催分は4月30日に実施)	実習指導者としての役割を理解し、効果的な実習指導が実践できる	・実習指導者の役割と指導要綱について ・教育原理、学生のレディネスについて ・効果的な授業デザインのあり方 ・学生が臨床で直面する倫理的課題 ・意欲を高める関わり方とは
26	新人教育担当者コース	係長またはセクションチーフ 看護単位で選出された 新人教育担当者	20名	4月・6月・9月・11月・1月・3月 第3火曜日 13:30~15:00	・新人看護師の指導体制を整備し、プリセプター・アシリエイト・実施指導者が役割を發揮できるように指導・助言ができる。	・卒後臨床研修制度と「当院の新人教育成体制」 ・新人教育担当者の役割 ・年間教育プログラムの立案、実施、評価 ・効果的なOJT、ローテーション研修、ポートフォリオの運用 ・実施指導者・アシリエイト・プリセプターへの動機づけと支援 ・次年度研修計画立案に向けた現状分析(SWOT分析)
27	感染リンクナースコース	看護単位で選出された 感染リンクナース	23名	毎月 第1水曜日 13:30~14:00会議 14:00~14:30研修 (4月開催分は14日、5月開催分は12日、11月開催分は10日に実施)	・自部署の感染対策に取り組むことで感染リスクの低減ができる	・経路別感染対策 ・標準予防策 ・各種感染対策
28	褥瘡リンクナースコース	看護単位で選出された 褥瘡リンクナース	17名	毎月 第4火曜日 13:30~14:30	・褥瘡リンクナースとしての指導のポイントがわかり、現場に活かすことができる	・褥瘡リンクナースの役割と褥瘡の基礎知識 ・体圧分散とポジショニング ・スキンケアと栄養管理
29	緩和ケアリンクナースコース	4等級以上 外来を含めた選出された 緩和ケアリンクナース (3,4階フロアを除く)	10名	偶数月 第4水曜日 13:30~15:00 (2月開催分は16日に実施)	・各部署で役割モデルとなり、がんと診断されたときから終末期まで一貫した緩和ケアが提供できる	・基本的緩和ケアを担う看護師に求められる役割と活動について ・緩和ケアにおける基礎知識と包括的アセスメントの方法と実際 ・部署の課題への取り組み・発表
30	せん妄・認知症看護リンクナースコース	4等級以上 看護単位で選出された せん妄・認知症リンクナース (4階フロアを除く)	15名	偶数月 第2水曜日 13:30~15:00	・せん妄・認知症看護の専門知識をもとに、各部署の役割モデルとなり実践できる	・せん妄の基礎知識、せん妄予防と発症時のケア ・認知症の基礎知識、非薬物的アプローチ、症状別対応 ・患者アセスメントの実際と看護の実践
31	退院支援リンクナースコース	4等級以上 外来・入院病棟から選出された 退院支援リンクナース	17名	奇数月 第4金曜日 13:30~15:00 (7月開催分は30日に実施)	・地域包括ケアシステムにおける急性期病院の役割を理解し、効果的な退院支援のあり方を学び、現場での実践、スタッフ指導ができる	・地域包括ケアシステムと当院の役割、退院支援ナースの役割について ・介護保険制度の仕組みや社会資源、訪問看護の現状の理解 ・自部署の課題への取り組み、事例検討会
32	倫理リンクナースコース	5等級以上 看護単位で選出された 倫理リンクナース	26名	奇数月 第4木曜日 13:30~15:00 (7月開催分は29日、9月開催分は30日に実施)	・適切な倫理的判断を行うために、倫理原則や当院の倫理に関する指針やマニュアルを学ぶ ・自部署の倫理的課題を明確化し、対処行動に結びつけられるための実践、指導ができる	・倫理担当者の役割について ・倫理的問題における事例展開のグループワーク
33	糖尿病ケアリンクナースコース	4等級以上 看護単位で選出された 糖尿病リンクナース(4Nを除く)	17名	奇数月 第2月曜日 13:30~14:30 (1月開催分は1月18日に実施)	・糖尿病看護の知識を深め、自ら役割モデルとなり現場での実践、スタッフ指導ができる	・糖尿病ケアリンクナースの役割と実践課題の取り組みについて ・事例検討(食事・薬物・運動療法、低血糖予防・フットケア)



NO	研修名	対象者	募集人員	期日	ねらい	内容
34	看護補助研修	看護補助員(レベルⅠ・Ⅱ・Ⅲ)	104名	7月6日(火) 14:00～15:00 7月13日(火) 14:00～15:00 *どちらかに参加	急性期病院における看護補助員の役割を理解し、業務に活かすことができる 看護師の指示・指導を受けながら基本的な看護補助業務を安全に遂行できる	・医療制度の概要と病院の機能と組織について ・医療チーム・看護チームの一員としての看護補助補助業務について ・看護補助業務を遂行するための基礎的な知識・技術 (患者の権利と人権、倫理、接遇) ・守秘義務・個人情報の保護 ・災害・防災対策
			104名	8月25日(水)16:15～17:15 8月26日(木)16:15～17:15 *どちらかに参加		・医療安全と事故防止 ・救急対応
			104名	8月17日(火)16:15～17:15 8月19日(木)16:15～17:15 *どちらかに参加		・感染防止について
35	看護補助レベルⅠ研修	看護補助員レベルⅠ (レベルⅡの未受講者)	10名	9月9日(木) 14:00～15:30	看護師と協働し、日常生活に関する業務が手順にそって安全に遂行できる	・車いすの構造、移送方法と注意点 ・ベッドからの移乗方法・注意点について
			10名	10月7日(木) 14:00～15:30		・臥床患者の清拭・更衣の実際、シーツ交換の援助の実際
36	看護補助レベルⅡ研修	看護補助員 レベルⅡ	35名	9月16日(木) 14:00～15:00	患者の安全を守るための基礎知識を学び、安全に業務が遂行できる	・院内に潜在する危険とは ・イラストKYT(危険予知訓練)について
				10月21日(木) 14:00～15:30	倫理的感受性を高め、業務に活かすことができる	医療現場における倫理について
37	看護補助レベルⅢ研修	看護補助員 レベルⅢ	75名	11月4日(木) 14:00～15:00 11月11日(木) 14:00～15:00 *どちらかに参加	看護補助者の業務と責任の範囲を理解し、安全対策について後輩指導が出来る	・課業チェックリストをもとに日常業務における危険な場面について ・グループ演習

<看護記録>

NO	研修名	対象者	募集人員	期日	ねらい	内容
38	看護記録Ⅱ	2・3等級 (新卒者以外)	50名	7月28日(水) 18:00～19:30 8月1日(土)～部署で看護過程の展開 11月10日(水) 18:00～19:00* 11月24日(水) 18:00～19:00* *どちらかに参加	科学的根拠に基づいた看護過程の展開ができる	・看護診断の定義と分類 ・事例展開をもとに学びの共有(グループワーク) ・看護観レポート
39	看護記録Ⅲ	3等級以上	40名	6月1日(火)～部署で看護過程の展開 10月13日(水) 18:00～19:00	看護過程の展開能力を高めると共に、自己の看護観を再構築する	・事例展開をもとに学びの共有(グループワーク) ・看護観レポート